

## 7 自分を見つめて 「少年の日の思い出」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力、表現力、コミュニケーション力

- 1 日 時 令和3年2月17日(水) 1校時
- 2 学年・学級 1年A組(男子11人 女子17人 計28人)
- 3 単元名 「少年の日の思い出」 ヘルマン・ヘッセ 著 高橋健二 訳(国語1 光村図書)
- 4 本単元を指導するにあたって

## 【単元観】

本単元は、国語科学習指導要領中学校第2学年「B 書くこと」の「ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」「オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。」「C 読むこと」の「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。」「エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」「オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。」また、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」「(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。」「(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。」の、5つの内容をねらいとする。

今回学習する「少年の日の思い出」は、二人の人物が対照的に描かれ、両者の生き方、考え方が対立し、山場では主人公は生涯忘れられないような体験をし、一つの教訓を得るという展開になっている。展開に従って主人公の心情は大きく波打つが、その底にあるのは、ものの見方、考え方、つまり認識の変容である。ただ心情の変化を追うのではなく、心情の変化をもたらした認識の変容をもしっかりとらえさせ、自らを見つめ直させるのに適した作品である。また、作品の中で、「僕」は情熱家であり考えずに行動してしまう少年らしい少年であり、その行動と心情の変化が巧みで克明に描かれている。一つ一つの言葉を丁寧に読み取り心情をつかむのに適した作品である。以上のことからこの単元を設定した。

## 【指導観】

指導に当たっては、心の葛藤を描き出す言葉や文章を丁寧に読み取ることで、登場人物の物の見方や考え方、それらの対立から生じる葛藤などを、文章に即して正確に読み取る力を養いたい。大きな変化や対立から大きな問いを発し、さまざまな読みを引き出す指導も考えたが、本校1年生の実態を考慮し、まず克明に描かれている心情の変化を叙述に沿って丁寧に読み取らせることにより、「僕」や「エーミール」の物の見方、考え方をとらえさせることとした。また、互いの読みを交流することで、個々の物の見方、考え方、感じ方を深めていきたい。

## 【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- 本文を指導者が範読することで、生徒が作品の世界に読み浸ったり、しっかり読みこんで教科書に線を引いたり書き込んだりできる場面を作る。

**【基礎・基本の定着】**

**(1) 習得すべき基礎・基本について**

- 語句の意味を正確に理解し、文章の内容を理解できる。
- 文中に使われている様々な表現技法について、その用法と効果が理解できる。
- 本文の叙述を根拠として登場人物の心情の読み取りができる。

**(2) 定着への手立て**

- 副教材や辞書を活用し、語句の意味を理解させる。
- 表現技法に着目した読み取りで、その用法と効果を理解させる。
- 心情読み取りの際、キーとなる言葉を示したり探させたりすることで、本文を意識させる。

**5 単元の目標**

- 作品に描かれている考え方や感じ方を通して、自分自身について考えることができる。
- 作品の構成や展開、登場人物の心情の移り変わりを読み取ることができる。
- 登場人物の考え方や感じ方について自分の考えをもたせる。
- 別の人物の視点で作品を書き換えさせ、材料の用い方や根拠の明確さについて感想や意見を交流させる。
- 優れた表現に触れることで多様な語句について理解を深めさせる。

**6 単元の評価規準**

ア 国語への 関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
①作品を読んで考えたことを書いたり発表したりしようとしている。友達の考えを自分の考えと照らし合わせて聞こうとしている。	①作品の設定(時,場所)や登場人物の人物像を踏まえて,作品を書き換えている。	①時間・場所・出来事などに着目して作品の構成や展開を捉えている。 ②本文に即して登場人物の心情の移り変わりを読み取っている。	①作中で用いられている表現上の工夫や,多様な語句について理解している。

**7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力**

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい6つの能力を定めている。(重点◎)

塩町中学校区6能力			
カテゴリー 【学力の3要素】 《評価の3観点》	資質・能力		
【思考力・判断力・表現力等】 《思考力・判断力・表現力等》	①思考力・判断力 (筋道を立てて考え自分で決める力)	◎	②表現力 (自分を表現する力) ○
【学びに向かう力・人間性】 《主体的に学習に取り組む態度》	③課題発見力 (情報を活用し課題をつかむ力)		④コミュニケーション力 (関わる力) ○
	⑤キャリア形成力		⑥感謝・貢献

	(課題解決のために努力する力)		(他者に感謝し自分を役立てる力)	
--	-----------------	--	------------------	--

- 思考力・判断力 …… 文章中のさまざまな描写から登場人物の心情を読み取ることができる。
- 表現力 …… 作品の設定や登場人物の人物像をとらえて作品を書き換えることができる。
- コミュニケーション力 …… 他者との意見交流から、自分の考えを広げたり深めたりできる。

## 8 指導と評価の計画 (全7時間)

時	学習内容 (時数)	評 価											
		関	書	読	言	評価規準 (評価方法)	資質・能力						
1	○ 全文は範読を聞き、難しい漢字の読み方や語句の意味を調べる。初読の感想をもつ。 (1)	○			◎	ア①, オ① (行動観察, ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察) ②表現力 (ノート)						
2	○ 全体の構成把握と, 第一部の「客の様子」をとらえる。 (1)				◎	エ① (行動観察, ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察, ノート)						
3	○ 「僕」のちょうの収集に対する熱情を読み取る。 (1)				◎	エ② (行動観察, ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察, ノート)						
4	○ 「盗み」をした部分から, 「僕」の揺れ動く心を読み取る。(本時) (1)				◎	エ② (ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察, ノート) ②表現力 (ノート)						
評価指標 (ルーブリック) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A (素晴らしい)</td> <td>・ Bに達している。 ・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを, 本時の場面の文章中の表現を根拠にし, 他の場面と関連付けて捉えている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B (良い)</td> <td>・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを, 本時の場面の文章中の表現を根拠に捉えている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>・ Bに達しない。「僕」の心情が一番大きく動いたところを捉えている。</td> </tr> </table>								A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを, 本時の場面の文章中の表現を根拠にし, 他の場面と関連付けて捉えている。	B (良い)	・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを, 本時の場面の文章中の表現を根拠に捉えている。	C	・ Bに達しない。「僕」の心情が一番大きく動いたところを捉えている。
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを, 本時の場面の文章中の表現を根拠にし, 他の場面と関連付けて捉えている。												
B (良い)	・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを, 本時の場面の文章中の表現を根拠に捉えている。												
C	・ Bに達しない。「僕」の心情が一番大きく動いたところを捉えている。												
5	○ 「盗み」をした後の「僕」と「エーミール」の気持ちを読み取る。 (1)				◎	エ② (ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察, ノート)						
6	○ 視点を変えて, 作品を書き換える。 (1)				◎	ウ① (ワークシート)	②表現力 (ワークシート)						

7	○書き換えた文章を読み合い，感想を交流する。  (1)	◎	ウ① (行動観察)	①思考力，判断力 (行動観察) ④コミュニケーション 力 (交流)
---	-----------------------------------	---	--------------	--

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

「僕」の心情の変化と行動を叙述に沿って丁寧に読み取り，心情の変化と行動との関係をつかむことにより，「僕」のもの見方，考え方を捉えることができる。

### (2) 観点別評価規準

エ② 本文に即して登場人物の心情の移り変わりを読み取っている。

### (3) 準備物

教科書，ノート，国語ファイル，振り返り冊子

### (4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)					
導入	○前時の学習を想起する。	○振り返りを読んでください。(意図的指名) <b>振り返り① 前時の読み取りを振り返る</b>  ☆学校に行かずにちょう集めをするくらい熱中していた。 ☆塔の時計の音が耳に入らないくらいちょう集めに熱中していた。						
展開	1 振り返り冊子に本時の学習目標を書く。 本時の評価指標を知る	○今日の学習目標を書きましょう。 <b>「僕」の行動と心情の変化を読み取ることができる。</b>						
	評価指標 (ループリック) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">A (素晴らしい)</td> <td>・ Bに達している。 ・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを，本時の場面の文章中の表現を根拠にし，他の場面と関連付けて捉えている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B (良い)</td> <td>・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを，本時の場面の文章中の表現を根拠に捉えている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>・ Bに達しない。「僕」の心情が一番大きく動いたところを捉えている。</td> </tr> </table>			A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを，本時の場面の文章中の表現を根拠にし，他の場面と関連付けて捉えている。	B (良い)	・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを，本時の場面の文章中の表現を根拠に捉えている。	C
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを，本時の場面の文章中の表現を根拠にし，他の場面と関連付けて捉えている。							
B (良い)	・ 「僕」の心情が一番大きく動いたところを，本時の場面の文章中の表現を根拠に捉えている。							
C	・ Bに達しない。「僕」の心情が一番大きく動いたところを捉えている。							
	2 一番大きな事件が起きたところはどこかを考えて線を引く。	○一番大きな事件が起きたところはどこかを考えて線を引きましょう ●読み取りをする部分を範読することで，作品の世界に浸らせる。 ●「初めて」をキーワードとして挙げておく。 「生まれて初めて盗みを犯した」						

<p>3 盗みを犯したとき、どんな気持ちだったかが書かれているところを探す。</p> <p>4 3と同じように、「僕」の心情を直接表現した言葉を探し、線を引く。</p> <p>5 心情の変化を心情曲線で表し、一番大きな心の変化があったのはどこか、またその時、どんなできごとがあったのかを考える。</p> <p>6 心情曲線を班で交流する</p>	<p>○盗みを犯したとき、どんな気持ちだったかが書かれているところはどこですか</p> <p>●端的な言葉で探させる。「大きな満足感」</p> <p>○「大きな満足感」と同じように、「僕」の心情を直接表現した言葉を探して、線を引きましょう。</p> <p>●端的な言葉で探させる。 ☆「せめて例のちょうを見たい。」 「紙切れを取りのけたい」 「おそろしい不安」 「冷たいきもち」「泣かんばかり」</p> <p>○心情の変化を心情曲線で表しましょう。特に一番大きな心の変化があったのはどこか、その時、どんな出来事があったのかを考えましょう。</p> <p>●そのとき何があったのかも押さえる。 ◆「瞬間」「突然」をキーワードとして示す。 ●大きな変化をしたところを高く、気持ちが落ち着いているところを低く描かせる。 一番大きな心の変化 ☆「自分は盗みをした、下劣な奴だということを悟った」 「僕の良心は目覚めた」 できごと ☆「誰かが僕の方に上がってくる」</p> <p>○心情曲線を班で交流しましょう。</p> <p>●心情曲線と、一番大きな心の変化、出来事について比較しながら考えさせる。</p>	<p>エ② 「僕」の気持ちの変化について、文章中の記述をもとに考えている。」</p> <p>【思考力、判断力】 (ノート)</p>						
<p>○「僕」の心情が一番大きく変化したところはどこで、それはどんなことから分かりますか。ノートに書きましょう。</p>								
<p>7 一番大きく心情が変化したところと、それはどんな表現から分かるかを文章にする。</p>	<p>●本時の評価指標を意識させながら、3行程度で書かせる。</p>							
<p>評価指標 (ルーブリック)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="292 1854 470 1951"> <p>A (素晴らしい)</p> </td> <td data-bbox="470 1854 1441 1951"> <p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ことで、「大きな満足感」から「恐ろしい不安」へと変化した。ちょう集めに熱中していて、それまでは周りが見えなかったのだと思う。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="292 1951 470 2047"> <p>B (良い)</p> </td> <td data-bbox="470 1951 1441 2047"> <p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ことで、「大きな満足感」から「恐ろしい不安」へと変化した。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="292 2047 470 2143"> <p>C</p> </td> <td data-bbox="470 2047 1441 2143"> <p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ところで大きく変化した。</p> </td> </tr> </table>			<p>A (素晴らしい)</p>	<p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ことで、「大きな満足感」から「恐ろしい不安」へと変化した。ちょう集めに熱中していて、それまでは周りが見えなかったのだと思う。</p>	<p>B (良い)</p>	<p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ことで、「大きな満足感」から「恐ろしい不安」へと変化した。</p>	<p>C</p>	<p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ところで大きく変化した。</p>
<p>A (素晴らしい)</p>	<p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ことで、「大きな満足感」から「恐ろしい不安」へと変化した。ちょう集めに熱中していて、それまでは周りが見えなかったのだと思う。</p>							
<p>B (良い)</p>	<p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ことで、「大きな満足感」から「恐ろしい不安」へと変化した。</p>							
<p>C</p>	<p>・「僕」の心情は、「誰かが僕のほうへ上がってくる」ところで大きく変化した。</p>							

	8 全体で交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>振り返り② 友達の意見を聞き、自分とは異なった視点で自分の書いたものを振り返る。</p> </div> <p>○書いたものを発表してください。 ○異なる意見のうち、賛同する意見を赤ペンで記入しましょう。</p> <p>●意図的指名で発表させることで、同じ内容の読み取りでも表現の仕方の違いがあったり、より具体的な表現ができたりすることに気づくことができる。</p>	
まとめ	○振り返り冊子に今日の振り返りを書く。	<p>○振り返りをしましょう。今日の授業で新しく発見したことや友達の意見から発見したことを書きましょう。</p> <p>●振り返りの視点3「新しい発見」を指定し書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>振り返り③ 本時の学びを振り返り、友達の意見から新しく発見したことを視点にして振り返りカードに記入する</p> </div> <p>☆「僕」の心情が大きく変化したのは、盗んだ時だと思っていたが、見つかりそうになった時だと気付いた。 ☆「僕」の心情が大きく変化したのは、誰かに会いそうになった時だったことは分かっていたが、友達の意見を聞いて、それはちょうを見たいという気持ちが大きすぎたからだということに気付いた。</p>	

## 10 板書計画



